

報道機関各位

長岡市土木部道路管理課
道路維持雪対策担当課長



発祥の地・長岡の風物詩 消雪パイプの点検を開始します

降雪期（12月～翌年3月）に活躍する「消雪パイプ」は、昭和36年に全国で初めて長岡の市道に設置されました。長岡市は、今年の冬も、安全・安心に道路を通行できるよう、市有消雪パイプの点検・調整作業を行います。

つきましては、下記のとおり概要をお知らせしますので、ぜひ取材くださるようお願いいたします。

長岡市有消雪パイプの点検・調整作業

- 1 期 間 10月下旬～11月下旬 ※予定
午前9時～午後5時（準備時間も含む）
- 2 規 模 消雪パイプ延長：363km 井戸本数：659本
- 3 内 容
 - （1）消雪パイプ内の汚れの除去作業（錆・砂等）・ノズルの点検調整
 - （2）井戸・取水ポンプの機能確認点検
 - （3）制御盤・降雪検知器の点検

【参考】

- 国が管理する消雪パイプ（長岡市内の直轄国道）：22km
- 県が管理する消雪パイプ（長岡地域振興局管内の県管理道路）：168km
- 私有消雪パイプは各所有者が点検・調整する。（約460km（全長岡））

報道機関への現地説明

- 1 日 時 10月26日（月）午前9時30分から1時間程度
- 2 場 所 長岡市坂之上町1丁目ほか地内（別紙のとおり）
※消雪パイプが初めて設置された場所です
- 3 その他 点検調整の際には、消雪パイプから地下水に含まれる砂や鉄分により汚濁した水が出ますので、ご注意ください。

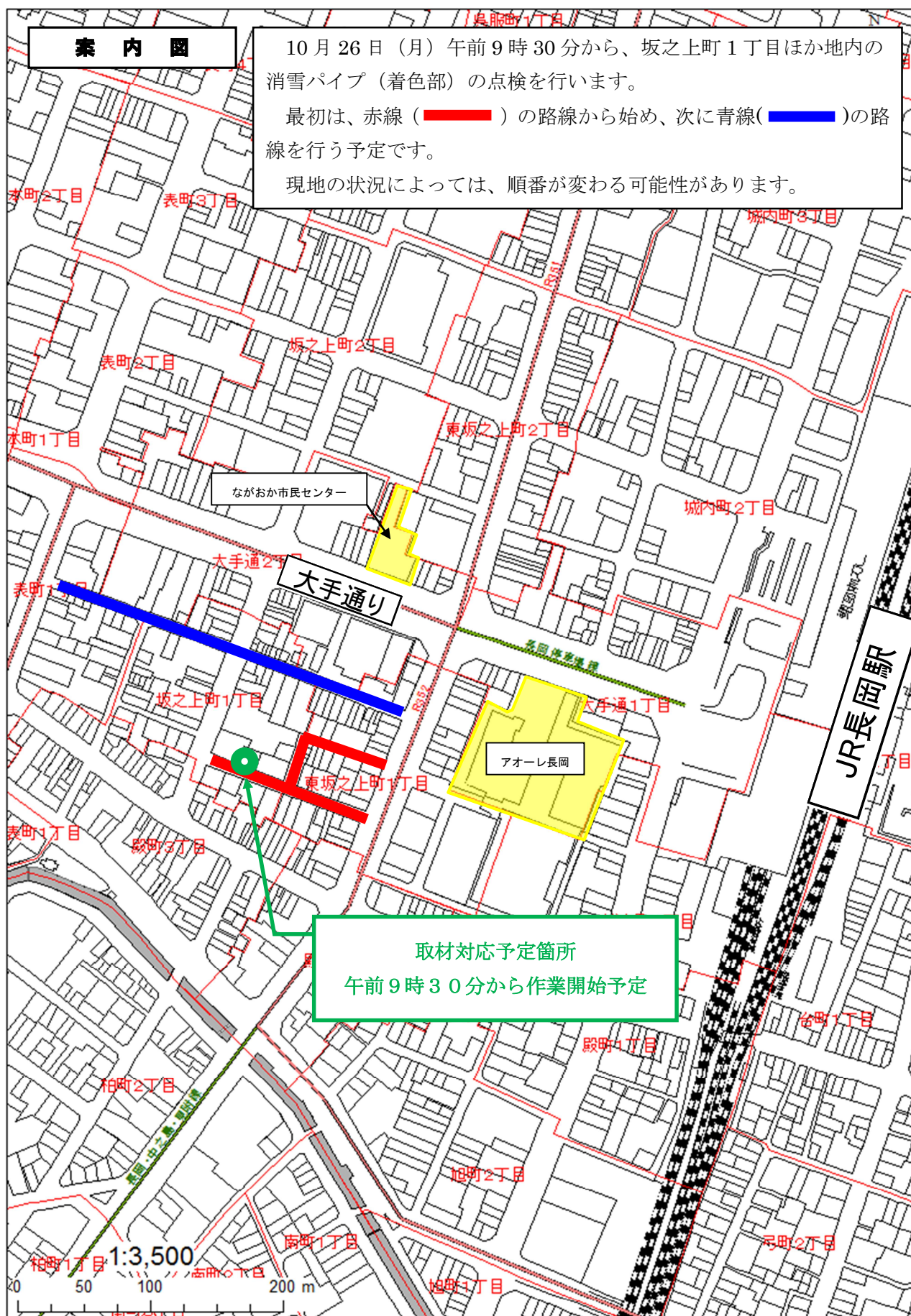
問い合わせ：道路管理課道路維持雪対策担当課長 平澤
TEL 0258-39-2232

案内図

10月26日（月）午前9時30分から、坂之上町1丁目ほか地内の消雪パイプ（着色部）の点検を行います。

最初は、赤線（■）の路線から始め、次に青線（■）の路線を行う予定です。

現地の状況によっては、順番が変わる可能性があります。



取材対応予定箇所

午前9時30分から作業開始予定

【長岡市の消雪パイプ】

浪花屋製菓の創業者・今井與三郎氏が地下水を使って道路の雪を溶かす消雪パイプを市と共同で発明し、昭和36年に全国で初めて長岡市の道路に設置された。以後、全国に普及していった。